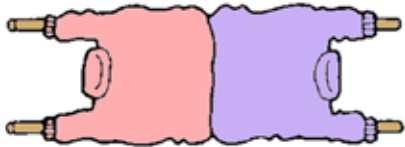


急病人やケガ人が でたときには

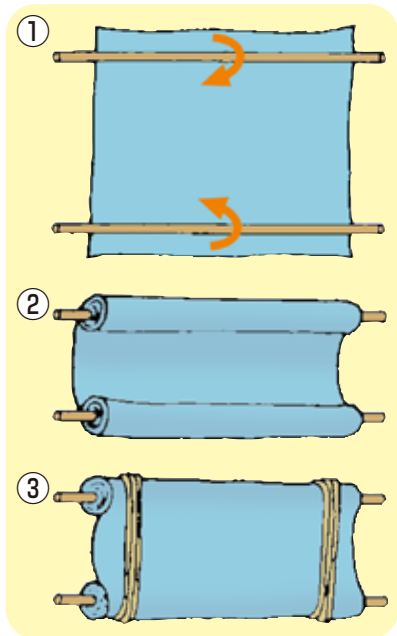
できるだけはやく医師(いし)や救急車を呼(よ)んで、その到着(とうちやく)を待つ。もしも、それが間にあわないときは、手近にあるものを利用して、たんかを作り安全な場所へ運ぶ。このとき、患者(かんじゃ)の頭はうしろむ

きにして、たんかのうしろを持った人は、患者の顔色や表情の変化に十分注意する。何もないうきは、あわてずにみんなで力を出しあって、静かに運ばなければならない。

■衣類利用のたんか



■グランドシート利用のたんか



■一人で運ぶ



■二人で運ぶ



■三人で運ぶ



■六人で運ぶ



●いざというときに 役立つ三角巾(さんかくきん)

三角巾というのは、1平方メートルくらいの布を二つに折ったり、切ったりして三角にした包帯用の布のことで、

ながく折りたたむと止血帯として使うこともできる。万一の場合、とても役に立つので野外生活をするときは必ず用意しておこう。

